

キャンパスライフ

技術講座では、令和五年三月二十一日の午後から温補講習会を開催しました。会場は教育学部技術科演習室で実施し、講師として卒業生三名（小学校教諭一名、中学校教諭二名）に来ていただきました。また大学からは、学生十名、教員二名が参加しました。

からは、「教育現場の現状と、学生のうちに準備すべきこと」という題目で、教員としての意義ややりがい、学習指導や授業実践の工夫、児童生徒との生活指導や保護者の対応、教員の心構え、学生の時に身につけるべき力等について話をしています。



桜の花の開花日が近づく令和五年三月十八日
（土）望月聰教授の定年退職記念講演会（於..
教育学部三〇〇号教室）を、対面とオンラインのハイブリッド形式で実施致しました。対面参加では、学部生や学内教員、卒業生が参加され、オンラインでは、県外在住の卒業生をはじめ望月教授と親交深い共同研究者の方々等、併せておよそ一〇〇名の方々が参加されました。

最初に教育学部長古賀精治教授から、望月教授の御歴歴と共に、約十年間半、学部及び全学の要職を歴任されご尽力されたエピソードが語られました。その後、十六年間望月教授の下で研究活動をされておりました別府大学食物栄養科学部梅木美樹教授から、望月研究室におけるエピソードとして、「動物実験を用いた食品の機能性の研究」で、一年間のラット飼育数のピークが五八二匹だ



大分大学教育学部准教授

生活技術教育講座

温補講習会

つたことを語られました
このラット数は驚異的な
数であり、望月教授の研
究に対する熱狂的な採用

とのお話を聞かせ頂きました。



の捐継を卒業生が指した事等、エピソードやユーモアを交えご講義頂きました。卒業生の皆さんへ大変懐かしい表情を浮かべ聴きつつも、「食の基本」を振り返り、「食」の重要性を改めて考えておられるようでした。

ご講演の後は、対面の参加者と共に記念撮影を行いました。撮影後しげ



たゞき、その後、それぞれの内容に対して質疑応答を行いました。
具体的には、「教科における児童生徒の評価に

中学校技術科教員に採用が決まつていた四年生の学生は、「来年の温補講習では後輩たちに自分の新任一年目の経験を話したいので、ぜひ講師として呼んでほしい」と言つており、卒業生と大学のつながりを強くする機会としても、温補講習は非常に有意義であつたと考えます。

らくの間、望月教授は卒業生のお一人お一人と談笑され、大変和やかな雰囲気に包まれました。改めまして、豊友会のご支援に心より御礼申上げます。



JFAトレーニングセンター「大分」の活動に携わらせていただけたおかげで、海外（ベルギー）遠征や九州トレセンスタッフ、国体女子の監督にトレセン委員長など、様々な立場で多くのことを学ばせていただきました。楽な立場ではありませんでした。

が、私が四年時に最下位となり、二部リーグへの降格という、キャプテンとしてはとても苦い思い出もあります。

一方、指導者としては選手にも恵まれたこともあり、勤務した学校で九州・全国大会等に出場することもできました。また、「大分県トレーニン

ならば、もしかすると教えることも年齢制限はないのかかもしれません。これまで多くの経験をさせてくれた「サッカー」にいつまで恩返しができるか？それが、私のこれからへの夢の一つです。

人生に夢があるのでなく、夢が人生を創るのですから…。

昭和63年卒業 一法師 直壹
(大分市立東陽中学校 校長)

部活動の今と昔に迫る!! 部活動 今昔物語一四

ならば、もしかすると教えることも年齢制限はないのかかもしれません。これまで多くの経験をさせてくれた「サッカー」にいつまで恩返しができるか？それが、私のこれからへの夢の一つです。

人生に夢があるのでなく、夢が人生を創るのですから…。



広場



豊後大野支部の先輩、
羽田野終良先生を紹介し
ます。

おまかせ!

羽田野 終 良 氏 87歳

豊後大野市三重町 (昭和34年卒)



どのような子ども時代
でしたか。

私が小学校に入学した頃は、恐ろしい大東亜戦争が始まった頃ですが、この頃は戦争が恐ろしいという感じではなく、学校も普段通りの授業があり、川で手ぬぐいを広げ、メダカやフナを捕つたりして遊んでいました。

しかし、三・四年生の頃になると、B29爆撃機による空襲が全国的に激しくなり、警戒警報がなると、全校およそ四百人が、保護者や地域の人があれに掘った防空壕に入り、恐怖で震えたことを覚えています。終戦間近には、日本の戦闘機がB29に体当たりをし、そのまま竹田市の山中に墜落しました。私は一週間後に墜落したB29爆撃機の現場を見に行きましたが、その飛行機の大きさに驚いたことを思い出します。

ロシアのウクライナ侵攻が始まると、ウクライナの子どもたちはこうした悲惨な思いをしているのだろうと思うと、とてもつらい思いがいたします。



卒業証書を手に (学生会館前)

大分大学学芸学部では
どのような学生生活を送
りましたか。

私は七人兄弟の七番目でした。そのため、高校を卒業して大学に行くため、一年間、富士緒井路の揚水所や製材所などいろいろと働きお金を貯めました。

学芸学部中学校・英語課程に入学しました。家庭教師などアルバイトをしながら学費を稼ぎ、卒業に向けて懸命に努力しました。

教員になつてからの思
い出をお聞かせください。
私は新任地は、地元の大野郡尾平中学校でした。

映画館や旅館が軒を並べた文化都市でした。しかし、生産量が減少の一途をたどっていました。

私が赴任した年は昭和三十四年の閉山の年で、急激に尾平地域が衰退していきました。

当時は戦争遺児もいて、集団就職をする生徒が多くいました。そんな生徒を見送るときの寂しさは大変なものでした。

教頭や校長の管理職を経験し、平成七年に三十七年間の勤務を終え、三重東小学校で退職しました。

私は幼いころから、書道が好きでした。独学で書道を学びました。翌年には篤志面接委員の嘱託を受け現在に至っています。この仕事は矯正施設内で、悩み事の相談にのったり、面談を行つたりします。

取材者

豊後大野市支部

会長 久保田正治 (昭和41年卒)
事務局長 内野貴文 (昭和53年卒)

焼失し、間に合わないと思つて焦りましたが、期日を遅らせてもらい無事卒業できました。大学の大変なご配慮に、心から感謝しております。



最初に教えた子どもたちと

書道を学びました。独学で書道を学びました。

平成十二年に大分少年院の書道指導を依頼され、翌年には篤志面接委員の嘱託を受け現在に至つております。



書道指導をされている先生

になれる、という希望を持たせたいです。

私は野菜作りに励んでいます。また、毎日のラジオ体操、腰痛体操などを動かすよう努めています。更に、少年院の院生と接し、一緒に未来のことを考えることです。

先生は、とても若くて健康的ですが、秘訣はありますか。

見えない能力を引き出すために、将来につながるよう「ほめる」「認める」を心がけてほしいと思つています。

私は野菜作りに励んでいます。また、毎日のラジオ体操、腰痛体操などを動かすよう努めています。更に、少年院の院生と接し、一緒に未来のことを考えることです。

書道を受章されています。八十七歳の年齢を感じさせない記憶力、話の内容の濃さ、九十歳まではマイカーで活動したいとされる意欲に感服しました。

みに対して、法務大臣賞、全国篤志面接委員連盟会長賞、令和元年には藍綬褒章を受章されています。

私は野菜作りに励んでいます。また、毎日のラジオ体操、腰痛体操などを動かすよう努めています。更に、少年院の院生と接し、一緒に未来のことを考えることです。

見えない能力を引き出すために、将来につながるよう「ほめる」「認める」を心がけてほしいと思つています。

壇中の独言——「閑」の勧め

大分市明磯町 秦

政 博 (昭和39年卒)

エッセイ



新井白石は職を追われて「隠棲」し、自身の歴史や政治経験を名著『折りたく柴の記』に記した。この隠棲は「隠居」と。隠居とは、「世事を捨てて閑居すること」。老人の称などと『広辞苑』に解説している。

老夫婦が、「風に聞け何れか先に散る木の葉」(漱石)という、やがて捨てる様相を思つてか想わ

事に縁遠くなり「閑居」の様相を呈しているからまさに隠居、「隣は何を

と子どもたちは別世帯が当たり前となつた今日、我らの幼少期とは家族の姿が変わつてしまい、親

の姿が変わつてしまい、親と子どもたちは別世帯が当たり前となつた今日、老人世帯に寂しく暮らす当人のことを隠居といふ意味も勿論当てはまる。

閑居のなか「長き日や沈香も焚かず屁もひららず」という茶の句は、沈香も焚かず屁もひららず」という茶の句は、

に、英の哲学者のバートランド・ラッセルは、「猛烈社員」「仕事人間」が蔓延した高度成長期以来を生きて来た丈夫の「惰(閑)こそ人生の基本であると主張する(『怠惰のすすめ』)。

に、英の哲学者のバートランド・ラッセルは、「猛烈社員」「仕事人間」が蔓延した高度成長期以来を生きて来た丈夫の「惰(閑)こそ人生の基本であると主張する(『怠惰のすすめ』)。

新井白石は職を追われて「隠棲」し、自身の歴史や政治経験を名著『折りたく柴の記』に記した。この隠棲は「隠居」と。隠居とは、「世事を捨てて閑居すること」。老人の称などと『広辞苑』に解説している。

老夫婦が、「風に聞け何れか先に散る木の葉」(漱石)という、やがて捨てる様相を思つてか想わ

事に縁遠くなり「閑居」の様相を呈しているからまさに隠居、「隣は何を

と子どもたちは別世帯が当たり前となつた今日、我らの幼少期とは家族の姿が変わつてしまい、親

の姿が変わつてしまい、親

◆鑑賞 困らせて阻むな
急な上り坂 雅人

◆鑑賞 晩年の夢は虹色
シヤボン玉 芳明

◆鑑賞 形・色・申し分ない
シャボン玉。人生の完
成形もそうありたい。
(雅人)

◆鑑賞 手加減や許す度量
ことだから 俊行

◆鑑賞 父の日と小さく
隅に書く日誌 俊行

◆鑑賞 妻の吐息癖 芳明

◆鑑賞 相づちで癒そう
妻の吐息癖 芳明

◆鑑賞 まあいいか酒の上での
仲間の句の鑑賞文によ
り秀句鑑賞「この一句」
欄を編集。この欄の作
品を少し拾つてみます。

日田川柳会では俳句と
鑑賞に励み、誌上句会を
毎月楽しんでいます。
会員は高齢者五名(県
番)、傘川柳連合会誌友等
の会員が参加しています。
日田川柳会では俳句と
鑑賞に励み、誌上句会を
毎月楽しんでいます。
会員は高齢者五名(県
番)、傘川柳連合会誌友等
の会員が参加しています。



川柳を楽しむ

日田市支部 朝野芳明

(昭和33年卒)

◆引くことも大事と
思う老いの坂 俊行

◆鑑賞 予期せぬ難局で四
苦八苦したことも過去
を教訓に生きてきた。老
いの坂は無理なく??:気
長く??:句にしながら
楽しもう(芳明)

◆白黒をマスクで
親に自己主張 雅人

◆鑑賞 人種差別に抗議し
た女子テニス選手を思
う。反抗期親も負けず
に黒マスク:(芳明)

◆予告は餌釣り手は
役者詐欺電話 芳明

◆椿咲く砲台跡に
風が舞う 雅人

◆青空を仰ぎ
戦禍の民思ふ 芳明

◆鑑賞 不戦を誓い続ける
高台の砲台跡:訪れる鳩
の群れが不穏な軍拡風に
平和を諭す(芳明)

日田川柳会 会報

会員互選句「三月月替りより」

会員登録用紙「会員登録用紙」

萩より牡丹



大分大学漫画研究部

支部だより

コロナ感染症まん延真っ最中に本支部の長を受けることに一抹の不安を感じてから三年目になりました。現在の支部(四年度)の所在地は大分市立明野北小学校で、現職会員数三八三名、継続会員数三〇〇名の合計六八三名で構成されています。

この三年間を振り返ってみると、毎年二〇名前後減少が実態(四年度は継続再加入いただいた方は十一名)でした。五年度は校区内の住所をもつ退職者二十四名の氏名がわかりました。少しでも継続していただけるよう勧誘したいと考えています。これも主たる支部活動と自任しています。

支部活動は総会の外に年六回の事務局会と年二回の会報の配布ですが、近隣の会員さんとの会話

感や自分が教育学部を卒業したという高揚感、研修したいという意欲が高いことが多いことがこの会の存続・発展に不可避だと思っています。現状は会員が減少傾向にあり、趣味や同好会などに補助金を出せる状況ではありません。

そこで、五年度の総会で会員だれもが容易に「豊友会」のホームページを携帯電話から検索し、活動を認める方法を全員に文書で発信しています。少しだけ多くの卒業生が進んで喜んで参加するには何をすべきか…、どう実行出来るかが今支部活動に問われていると思っています。

コロナ禍前は、前々支

部長の教え子が主演を務めた縁で博多座観劇ツア

ーを計画し、観劇後、主

演女優さんを囲んでの懇親会を行いました。又、母校を巡るツアーや、新しくなった大学生協内

を豊友会役員の方に案内

大分市中央支部 支部長
工藤俊邦 (昭和45年卒)

現状に悩みながら

や、情報交換、研修などが十分ではないと感じています。現状では一堂に会して情報交換すべき理事会(総会)も二年間の紙面審議のあと令和四年度にやっと三年振りに開催できました。

今年は、会員が常時簡単に活動の実態が見えるようにしたいと考えています。同窓会の活動や存

在意義が確認でき、安心感や自分が教育学部を卒業したという高揚感、研修したいという意欲が高まることがこの会の存続・発展に不可避だと思っています。

現状は会員が減少傾向にあり、趣味や同好会などに補助金を出せる状況ではありません。

そこで、五年度の総会で会員だれもが容易に「豊友会」のホームページを携帯電話から検索し、活動を認める方法を全員に文書で発信しています。少しだけ多くの卒業生が進んで喜んで参加するには何をすべきか…、どう実行出来るかが今支部活動に問われていると思っています。

コロナ禍前は、前々支

部長の教え子が主演を務めた縁で博多座観劇ツア

ーを計画し、観劇後、主

演女優さんを囲んでの懇親会を行いました。又、母校を巡るツアーや、新しくなった大学生協内

を豊友会役員の方に案内

していただきました。昼食を食べながら、昔の定食よりもおいしくなっているなど、昔を懐かしながら、会員間をつなぐ活動を行なってきました。今年度はコロナが第五類に引き下げるされました。支部の活動も再開しているこうと考えています。

その第一弾として、韓

国史跡・グルメツア

ーを企画し、かつての同僚や部下達を連れて行きたいながら一年ぶりの再開を喜び合い、大学時代の話を花を咲かせています。

ここ三年ほどは、コロ

ナ禍により、総会の開催

話に花を咲かせています。

ここ三年ほどは、コロ

ウルや釜山グループツア

ーを企画し、かつての同僚や部下達を連れて行きたいながら一年ぶりの再開を喜び合い、大学時代の話を花を咲かせています。

ここ三年ほどは、コロ

ナ禍により、総会の開催